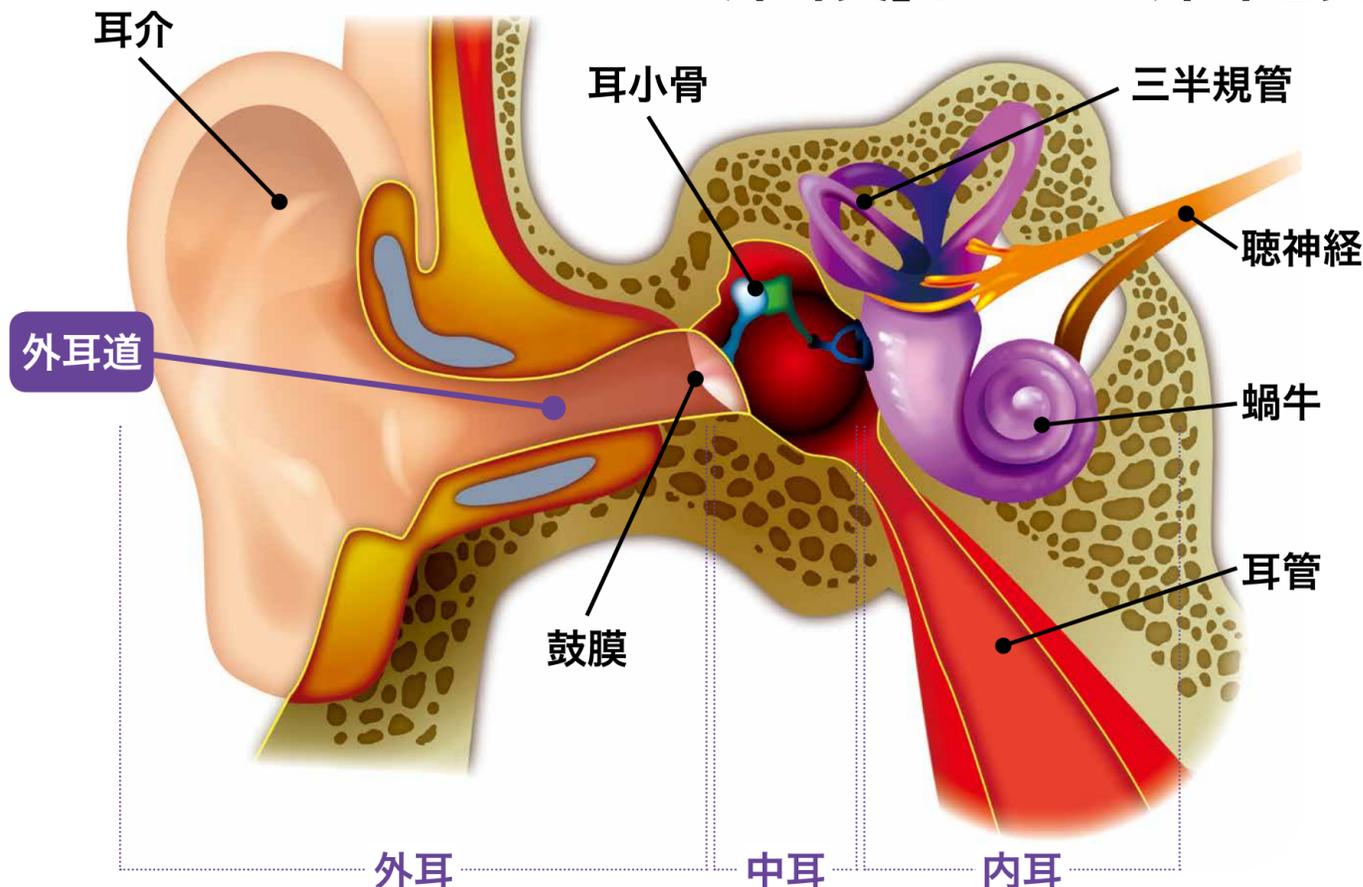


監修：笠井耳鼻咽喉科クリニック
院長 医学博士 笠井創先生

外耳炎(外耳道炎)

外耳(外耳道)とは、耳の入口から鼓膜までの部分を指します。外耳道が傷ついたり、炎症を起こした状態を「外耳炎」または「外耳道炎」といいます。

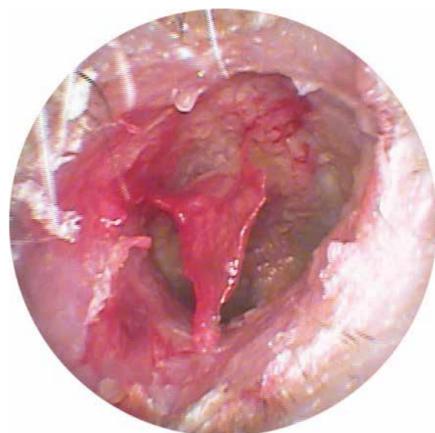


原因は？

- 耳掃除のしすぎで傷つける
- アトピーで湿疹ができたり、花粉症などにより耳の中が痒くなり、耳かき棒などでいじりすぎる
- プールなどでの細菌感染 など

悪化すると、治りにくくなることも

患部をいじりすぎると悪化し、化膿して、「耳せつ」と呼ばれるおできができることもあります。いじればいじるほど治りが遅くなるので、注意が必要です。



耳掃除のしすぎで傷ついた状態



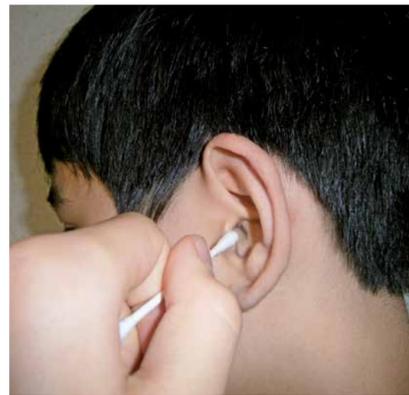
化膿して「耳せつ」ができた状態

治療法は？

- 痛み、痒みのある箇所に軟膏を塗布する
- 痛みがある場合、鎮痛剤を服用する
- 化膿している場合は、抗生物質を服用する

掃除は耳の入口をそっと拭き取るように

耳掃除は、耳の入口を綿棒でそっと拭き取るように行います。奥まで入れ過ぎると外耳道を傷つける原因になります。また、耳かき棒はできるだけ使わないようにしましょう。



外耳道真菌症とは？

外耳道に湿疹ができ、皮膚の抵抗力がなくなると、そこにカビが生えることがあり、これを「外耳道真菌症」と呼びます。耳鼻咽喉科を受診し、耳垢やカビをきれいに掃除し、抗生物質や抗真菌剤などを使用した処置治療を行います。痒みの強い場合には、抗ヒスタミン剤などを内服することもあります。外耳炎同様、耳をいじると悪化するので、注意が必要です。